

市政を問う!

15議員が登壇 (一般質問)

赤水の市有地の開発について

五嶋 義行



阿蘇市の西の玄関口として重要な地域と認識しています。したがって、道路整備等を含めた何らかの手を打っていく必要があると考えています。今後、地元副区长を中心に、関係各位の理解を得ながら進めていきたいと思っています。

狩尾3区の公民館前の安全対策について

五嶋 過去に数回、公民館前で転落事故が起っており、防護柵の必要があると思うが、市の考えは。

建設課長 危険性は認識していますが、公民館については各行政区が運営することになっていたので、地区の皆さんに転落防止の安全対策をお願いしたいと思っています。

渡辺企画振興課長 赤水の国道57号線沿いの市有地に、2011年春の完成を目指して簡易パーキングエリア(休憩所・直売所)を計画したところですが、しかし、国の事業仕分けにより国土交通省の22年度道路事業が縮小されたため、他の補助事業を探しているところであり、知恵を絞って取り組む考えです。

赤水集落内の道路建設について

五嶋 赤水集落内の道路建設は地域住民の長年の要望事項であり、定住促進の意味からも大事であると思う。建設課の考えは。

伊藤建設課長 赤水地域は合併以前から定住化構想が練られており、



赤水集落内の交差点

「農政転換」阿蘇市の対応は



阿部 樹範

定していないのですが、私の試算では阿蘇市で4億円程交付金が多くなると思われます。農家のとも補償制度も維持し、積み重ねてきたことがより前進するようにすべきと考えます。

阿部 政権交代により、あらゆる分野で政策転換や事業の見直しが行われている。農政も同様で農家には期待と不安が入り混じっているが。

山口農政課長 米の戸別所得補償制度では、転作を達成された農家には所得補償がされることとなります。水田利活用自給率向上制度では、転作物ごとに大豆等は3万5千円・飼料米稲等には8万円・加工米等には2万円・その他作物には1万円が交付されるようですが、まだ確定はしていません。

阿部 大豆650ヘクタール、麦200ヘクタール、飼料作物400ヘクタール、飼料用稲200ヘクタールが作付され、その内400ヘクタールが団地化されている。農家の地道な努力でようやくブロッコリー・ブロッコリーも出来上がってきている。農政転換とは言え、今までの努力が無駄にならないよう行政も対応をしていくべきと思うが。

渡邊経済部長 細部に関しては確



山田地区の麦作付団地

阿部 2〜3年したら安定期になると思う。ここ1〜2年は農政課一丸となって取り組んで欲しい。また、12月15日より改正農地法も施行された。行政も農家も踏ん張り所である。**副市長** 確定した時点でマイナスにならないよう市長にもお願いしたいし、基本的なことを崩さないよう努力していきます。

阿蘇中央病院の建替えについて



宇野 治雄

宇野 阿蘇中央病院で健康診断の受診者は何人であったか。**中央病院事務局長** 平成20年度において、直接病院で受けた方は784人、病院外での検診者が679人、合わせて1463人でした。

宇野 平成21年3月に報告された阿蘇中央病院建設推進懇話会報告書の概略について説明を求めます。

岩下中央病院事務局長 懇話会は、阿蘇中央病院の方向性を示した経営改革委員会の答申を具体的に推進するため、20年10月に市長から委嘱を受け設立されたものであり、阿蘇地域の医療の現状、公立病院の役割及び病院の状況を踏まえ、阿蘇中央病院が目指すべき医療や改革の指針をまとめたものです。

宇野 県が策定する阿蘇・天草地区の地域医療再生計画との関連について説明を求めます。

江藤市民部長 県が策定する地域医療再生計画とは、阿蘇保健所を圏域とした2次医療圏の計画であり、小国郷や南郷地区を含んだ地域医療再生計画です。医療機能の強化、医師の確保等について支援する事業であり、本事業により、地域の開業医の方たちとも阿蘇地域の医療再生について議論できる体制となりました。



阿蘇中央病院建設準備室

宇野 今後の病院建設にあたっては、地元医療機関との連携が重要課題と思う。夜間当番医制度等、十分に地元医師会との意見交換等をして、今までの病院体制でなく、急患救急処置の後は地元医療機関に依頼するといったワンランク上の医療機関を目指してもらいたい。最後に、医師の確保についてお尋ねする。**市長** 医師の確保については、熊本大学病院より協力していただける約束がとれています。